

令和元年度事業報告の件

令和元年度実施事業報告

支援対象等	実施事業名等	事業内容	
大学 支援 事業	学部学生	保険加入支援事業	学部新入生の内、教育後援会入会者1,387名に対して「学生教育研究災害傷害保険(「学研災」)」「学研災付帯賠償責任保険(「付帯陪責」)」の4年分(医学部は6年分)の加入料を負担。合計で675.7万円。
		短期留学支援事業	国際センター主催事業の海外留学 学部学生(夏出発25名、春中止)に対し、教育後援会入会者には短期留学(語学研修を含む)にかかる学研災付帯海外留学保険料を補助。32万円。
		キャリアデザイン 就職支援事業	①就職支援(就職支援室主催・教育後援会後援) ・高原記念館(学友ホール・特別会議室)で就職ガイダンス「インターンシップ・就職活動の基礎知識」、「マナー・面接対策」、「フォローアップガイダンス」、「自己分析講座」、「業界・企業研究」、「適正検査の基礎知識」、「グループディスカッション」、「就活直前復習」などを実施。学生の参加者数は45日間で延べ1,531名 ・また企業合同説明会を実施。36日間で466社、2,794名の学生が参加。 ②就職手帳の作成等支援。 91万円
		クラブ・サークル 支援事業	活発な活動を行っているクラブ・サークルの78団体に活動支援金合計799万円を贈呈。(新型コロナウイルス感染症による活動中止で22万円返金有り)
		学生行事助成事業	大学祭、ポート祭等の学生行事6団体に対して助成金合計176万円を贈呈。
		クラブ・サークル 特別支援事業	特別支援事業として大音楽練習室の内装工事・照明等付帯工事、本館地区テニスコートLED照明設置、第1学生ホール2階旧トイレの共同倉庫への改修工事など。800万円
		TOEIC・TOEFL・IELTS 受験料補助事業	年7回学内で実施されたカレッジTOEIC(326名)・公開TOEIC(400名) TOEFL(4名)・IELTS(4名)の受験者延べ734名への受験料補助181.2万円。 (カレッジTOEIC2000円、公開TOEIC2800円、TOEFL・IELTS 5000円、年2回限り)
		顕彰事業	①大学選考の2年次学生36名に「学修奨励賞」の副賞(図書カード@5,000×36名18万円)、各学部(医学部は医学科と看護学科)最優秀成績修得の4年次学生(医学科は6年次学生)9名に対して学部学位記授与式で「学業成績優秀賞」の副賞(高級腕時計67.5万円)を授与 ②課外活動の1団体・1個人に「最優秀課外活動賞」、5団体・7個人に「優秀課外活動賞」、1個人に「優秀課外活動新人賞」、5個人に「資格試験優秀成績賞」(公認会計士4名、英検1級1名)、3団体・1個人に「社会貢献活動賞」を賞金で合計99万円授与
		学生国際交流事業	留学生と日本人学生との国際交流会を大学と共催で春・冬2回実施。懇親会費等合計37.4万円負担。

大学支援事業	学部学生	学部学生旅費等補助事業	国内1万円、国外5万円を上限に学会・研究会等での論文発表に要する旅費等の補助を国内22名（内2名は新型コロナウイルス感染症のため学会中止）、国外33名（内12名は新型コロナウイルス感染症のため申請取下げ）の教育後援会入会者に対して実施、補助額合計120万円。	
		エッセイ活動支援事業	学生の社会貢献活動や社会的課題解決の取組を促進する活動に大学と共催で支援を実施。 9団体合計139.6万円	
		100円朝食支援事業	学生に朝食を食べる習慣をつけ健康で健全な学生生活を援助するため、平成29年度から杉本で実施した100円朝食について、生協の協力でメニューを作成し、昨年度に引き続き杉本とあべので実施。約1ヶ月で延べ2,716人が利用した。総額52.9万円	
		その他支援事業	学生への助成支援 ①キャンパスライフ 10万円 ②「教育再生加速プログラム」支援 100万円	
	大学院学生 教員	保険加入支援事業	大学院新入生の内、教育後援会入会者112名に対して「学生教育研究災害傷害保険」(学研災)、「学研災付帯賠償責任保険」(付帯賠償)の加入料負担。合計28.4万円。	
		大学院学生旅費等補助事業	国内5万円、国外10万円を上限に学会・研究会等での論文発表に要する旅費等の補助を国内29名（内6名は新型コロナウイルス感染症のため学会中止）、国外10名の教育後援会入会者に対して実施。採択率は国外・国内とも100% 補助額合計129.8万円	
		女性研究者支援事業	女性研究者への支援事業として、女性研究者奨励賞（岡村賞）で、特別賞、大学院生奨励賞・博士研究員奨励賞を表彰された方に副賞を授与 計20万円	
	学部・研究科	顕彰事業	優秀教育賞	①永井 史男・教授（法学研究科）国際政治の専門家として、タイ・チュラロンコン大学、タマサート大学、バンダラデシュ・ダッカ大学、韓国・ソウル市立大学、台湾・東呉大学などと学部学生・大学院生の国際交流を積極的に実施し、教育の国際化、授業における工夫や政治学を志す人のための指針となる入門書の出版などに大きく貢献。 ②藤田 寿一・教授（看護学研究科）看護学科において看護英語、英語文献購読、生化学、基礎遺伝子学、医療英語論文表現を担当し、LL・情報処理演習室に安価なソフトを用いたシステムの構築とそれによる教育の向上および看護学科の教育の国際化に大きく貢献。 各10万円（計20万円）
			優秀テキスト賞	①高橋 信弘・教授（経営学研究科） 『グローバル化の光と影 ー日本の経済と働き方はどう変わったのかー』 ②永井 史男・教授（法学研究科） 『政治学入門』 ③高橋 英治・教授（法学研究科） 『商法入門』 ④新谷 歩・教授（医学研究科） 『あなたの臨床研究応援しますー医療統計につながる正しい研究デザイン、観察研究の効果的なデータ解析』 ⑤堀口 正・教授（生活科学研究科） 『世界に広がる農村生活改善』 各5万円（計25万円）

大学支援事業	教職員	学部・研究科学生支援事業	①経営学研究科 フランス・ル・アール大学との交流事業に必要な経費の一部を支援。28万円 ②経済学研究科 教育・研究のための経済統計ソフトの導入にかかる経費の一部を支援。23.8万円 ③文学研究科 国際的な研究成果発信の指導・支援事業のためのフォーラム開催費用の一部を支援。23.8万円 ④理学研究科 2泊3日の合宿セミナー「アインシュタインセミナー」開催経費を支援。24.4万円
	環境整備	夢基金寄附事業	全天候型グラウンド整備予定費 1,000万円
		学内環境整備事業	1号館前芝生広場の整備事業（本館地区前庭デザイン提案ワーキング）。97.9万円
	図書整備	学生選書助成事業	学術情報総合センターの学生選書事業としてセンター及び医学部分館に図書を寄贈し、センター2階には教育後援会寄贈図書コーナーと就職関連図書コーナーを設けている。100万円。
会員サービス事業	保護者	新入生保護者懇談会	5月25日(土)開催 第1部：全学懇談会 第2部：学部別懇談会 第3部：懇親会 参加者168名 61.2万円
		保護者就職説明会	1～3年生の保護者を対象とした就職説明会を平成29年度から開催。今回は市大OB2名の方を招いての講演を開催。 7月27日(土)開催 『あなたは就職活動の良きサポーター』 第1部：「市大の就職状況」 第2部：「保護者のための就職応援講座」 第3部：「市大OBが語る“求められる人材とは”」 参加者293名 47.1万円（チラシ作成・送料含む）
		保護者交流支援事業	第1企画 令和元年6月15日(土) 参加者46名 『驚きの匠の技!』（神戸市：竹中大工道具館） 第2企画 令和元年10月5日(土) 参加者52名 『市大で考える「防災」・市大を観て歩く「キャンパスツアー」』 第3企画 令和元年10月12日(土) 台風19号接近により中止 『上方文化を学ぶ「大阪が愛し育てた文楽と落語」』 第4企画 令和元年11月30日(土) 参加者55名 『おとなの空港見学「伊丹空港探検!!」』 合計71.4万円（チラシ作成含む）
	全会員	情報発信サービス	教育後援会ホームページを運用し、教育後援会支援事業の実施案内・募集案内を掲載するとともに、書類の電子化により申請手続きの簡素化および迅速化を図る。
		会報の発行	3月上旬に「教育後援会報 第6号」発行 60.9万円(送料含む)
	保護者会員 支援会員 旧学友会員	電子メール利用サービス	旧学友会員に生涯メールアドレスを供与し、メール転送サービスを実施。